



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,292	9.2	△199	—	△160	—	△194	—
2022年3月期第2四半期	2,100	17.1	△153	—	△105	—	△152	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △190百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △214百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△130.71	—
2022年3月期第2四半期	△102.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	23,005	9,842	42.7	6,618.67
2022年3月期	23,703	10,033	42.3	6,746.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 9,831百万円 2022年3月期 10,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	21.8	150	—	180	—	130	—	87.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,500,000株	2022年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	14,557株	2022年3月期	14,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,485,553株	2022年3月期2Q	1,485,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限は緩和されたものの、7月以降の感染症再拡大や更なる諸物価の上昇など、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は2,292百万円（前年同期比9.2%増）、営業損失は199百万円（前年同期は153百万円の営業損失）、経常損失は160百万円（前年同期は105百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は194百万円（前年同期は152百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、引き続き、従業員のマスク着用、車内換気、列車・駅設備の消毒など、感染症拡大防止策を徹底いたしました。

旅客部門では、行動制限が緩和される中、貸切列車、他社と連携した夜行列車の運行やS Lの運行2900回を記念したS L企画列車の運行、記念乗車券の発売など、積極的に旅客誘致に努めました。これらにより、旅客の人員及び収入は前年同期に比べ増加いたしました。そのほか、インバウンド需要への対応として、駅ナンバリングを導入し、多言語化とともに駅名看板をリニューアルいたしました。

貨物部門では、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

更に、電力単価高騰により電力費が大幅に増加したことに加え、設備投資に伴う減価償却費などにより、営業費用は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

この結果、営業収益は1,516百万円（前年同期比3.5%増）、営業損失は202百万円（前年同期は106百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、請負工事の受注件数の増加や、熊谷駅南口駐車場の稼働率向上により、請負工事収入及び賃貸収入がそれぞれ前年同期に比べ増加いたしました。

一方、営業費用は、賃貸物件の緊急修繕実施などにより増加いたしました。

この結果、営業収益は171百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は72百万円（同12.5%減）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、夏休みやシルバーウィークの繁忙期に感染症再拡大や天候不順による影響を受けたものの、行動制限の緩和やいわゆる県民割により、個人利用が増加したほか、団体利用にも一部回復が見られました。

この結果、営業収益は198百万円（前年同期比17.0%増）、営業損失は13百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、学校団体など一部の貸切バス需要に回復が見られたほか、新たなスクールバスの運行開始などもあり、旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

一方、営業費用は、燃料費高騰などの影響もあり増加いたしました。

この結果、営業収益は94百万円（前年同期比63.0%増）、営業損失は39百万円（前年同期は63百万円の営業損失）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、卸売・小売業ではコンビニエンスストアの売上が堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は470百万円（前年同期比17.8%増）、営業損失は19百万円（前年同期は47百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ698百万円減少し23,005百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ616百万円減少し1,887百万円、固定資産は81百万円減少し21,117百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ506百万円減少し13,162百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ816百万円減少し3,489百万円、固定負債は309百万円増加し9,673百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備投資未払金が減少したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ191百万円減少し9,842百万円となりました。純資産減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（2022年11月11日）別途公表の「2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,342	1,098,160
受取手形、売掛金及び契約資産	254,298	303,974
分譲土地建物	96,178	94,860
商品及び製品	28,279	32,960
原材料及び貯蔵品	146,660	151,311
その他	1,233,829	210,276
貸倒引当金	△4,183	△3,871
流動資産合計	2,504,406	1,887,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,201,514	14,200,030
減価償却累計額	△10,018,999	△10,059,714
建物及び構築物 (純額)	4,182,514	4,140,315
機械装置及び運搬具	5,144,445	5,145,425
減価償却累計額	△4,503,978	△4,576,096
機械装置及び運搬具 (純額)	640,466	569,329
土地	15,474,880	15,474,880
その他	1,004,379	1,049,054
減価償却累計額	△648,032	△705,640
その他 (純額)	356,347	343,413
有形固定資産合計	20,654,208	20,527,939
無形固定資産	67,398	129,602
投資その他の資産		
投資有価証券	349,290	352,012
繰延税金資産	97,223	77,679
その他	52,688	52,235
貸倒引当金	△22,054	△22,051
投資その他の資産合計	477,148	459,876
固定資産合計	21,198,755	21,117,418
資産合計	23,703,161	23,005,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,636	98,166
短期借入金	905,000	905,000
1年内返済予定の長期借入金	1,205,635	1,193,773
未払法人税等	6,591	23,000
未払消費税等	18,711	113,443
契約負債	86,863	93,317
賞与引当金	161,019	160,783
資産撤去引当金	286,885	286,885
その他	1,349,307	614,961
流動負債合計	4,305,650	3,489,332
固定負債		
長期借入金	3,355,609	3,676,917
繰延税金負債	2,011	1,791
再評価に係る繰延税金負債	4,424,078	4,424,078
退職給付に係る負債	1,358,968	1,351,540
特別修繕引当金	31,500	44,100
長期預り金	81,177	82,583
その他	110,179	91,992
固定負債合計	9,363,524	9,673,003
負債合計	13,669,175	13,162,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,014	19,014
利益剰余金	△590,981	△785,153
自己株式	△31,698	△32,034
株主資本合計	146,334	△48,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,484	194,354
土地再評価差額金	9,693,861	9,693,861
退職給付に係る調整累計額	△9,807	△8,383
その他の包括利益累計額合計	9,876,538	9,879,831
非支配株主持分	11,113	11,097
純資産合計	10,033,986	9,842,756
負債純資産合計	23,703,161	23,005,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	2,100,271	2,292,742
営業費		
運輸等営業費及び売上原価	1,619,211	1,788,313
販売費及び一般管理費	634,161	704,328
営業費合計	2,253,372	2,492,641
営業損失(△)	△153,101	△199,898
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	8,523	22,712
土地物件貸付料	10,289	10,082
助成金収入	46,864	26,292
その他	3,317	2,763
営業外収益合計	69,001	61,856
営業外費用		
支払利息	13,104	15,223
減価償却費	6,740	6,740
その他	1,100	678
営業外費用合計	20,945	22,641
経常損失(△)	△105,045	△160,684
特別利益		
固定資産売却益	59	—
補助金収入	220,250	9,914
特別利益合計	220,309	9,914
特別損失		
固定資産圧縮損	220,250	9,764
固定資産除却及び撤去費	883	—
特別損失合計	221,133	9,764
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,869	△160,533
法人税、住民税及び事業税	27,742	15,182
法人税等還付税額	△21,512	—
法人税等調整額	40,637	18,472
法人税等合計	46,867	33,655
四半期純損失(△)	△152,736	△194,188
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△484	△17
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△152,252	△194,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△152,736	△194,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,684	1,870
退職給付に係る調整額	△2,346	1,423
その他の包括利益合計	△62,030	3,294
四半期包括利益	△214,767	△190,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,256	△190,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△511	△16

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,458,809	152,997	169,533	58,003	1,839,344	260,926	2,100,271	—	2,100,271
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	6,113	7,512	326	86	14,038	138,565	152,604	△152,604	—
計	1,464,923	160,510	169,859	58,089	1,853,382	399,492	2,252,875	△152,604	2,100,271
セグメント 利益又は損 失(△)	△106,598	82,471	△27,148	△63,435	△114,710	△47,667	△162,377	9,276	△153,101

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,276千円には、固定資産未実現損益の消去額1,497千円、セグメント間取引消去7,778千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,510,437	164,256	198,257	94,630	1,967,581	325,160	2,292,742	—	2,292,742
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	6,169	7,525	466	35	14,197	145,520	159,718	△159,718	—
計	1,516,607	171,781	198,724	94,665	1,981,778	470,681	2,452,460	△159,718	2,292,742
セグメント 利益又は損 失 (△)	△202,080	72,123	△13,970	△39,613	△183,540	△19,973	△203,514	3,615	△199,898

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,615千円には、固定資産未実現損益の消去額1,989千円、セグメント間取引消去1,626千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)	
旅客人員	定期	千人	2,249	2,181	3.1
	定期外	〃	1,168	888	31.6
	計	〃	3,418	3,069	11.3
貨物トン数		千トン	858	928	△7.5
旅客収入	定期	百万円	315	311	1.1
	定期外	〃	458	375	22.0
	計	〃	773	687	12.5
貨物収入		〃	610	659	△7.5